

OMRON

形 FLV-BR□

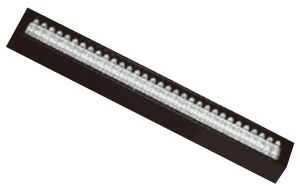
バー照明

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用に際しては、次の内容をお守りください。

- ・電気の知識を有する専門家がお取扱いください。
- ・この取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。
- ・この取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。



CE

オムロン株式会社

2279343-2D

© OMRON Corporation 2013 All Rights Reserved.

①

安全上のご注意

● 警告表示の意味

	警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重症や死亡にいたるおそれがあります。また、同様に重大な物的損害を受けるおそれがあります。
	注意	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受けるおそれがあります。

● 警告表示

	警告
安全を確保する目的で直接的または間接的に人体を検出する用途に本製品は使用できません。 人体保護用の検出装置として本製品を使用しないでください。	
分解すると、高い電圧の部分があり、感電の恐れがあります。また高温でやけどのおそれがあります。 本体の分解、修理、改造、加圧変形、焼却などは絶対にしないでください。	
LED光を見続けるとまれに視力障害を起こすことがあります。 LED光を直視しないでください。	

注意

故障や発火のおそれがあります。 定格電圧を越えて使用しないでください。	
破裂のおそれがあります。 AC電源では絶対に使用しないでください。	
万一の場合、軽い火傷の恐れがあります。 照明が発光中や電源を切った直後は、ケースに触れないでください。	

安全上の要点

以下に示すような項目は安全を確保する上で必要なことですので必ず守ってください。

- 設置環境について
・引火性、爆発性ガスの環境では使用しないでください。
・操作や保守の安全を確保するため、高電圧機器や動力機器から離して設置してください。
・取付ネジは本書に記載されている既定のトルクで締め付けてください。
- 電源および配線について
・電源および配線については専用の照明コントローラ (形FLV-TCC4□/-TCC1□/-TCC3HB□、形FLV-ATC□1024-□) の取扱説明書の安全上の要点に従ってください。
・照明接続コネクタの脱着を行うときは、必ず本体の電源をOFFにしてください。故障の原因となります。
・通電中、常温環境下で70℃程度の高温になる場合がありますので、本商品に直接触れずに、耐熱手袋などを着用してください。
・高圧線、動力線と本製品の配線は別配線としてください。同一配線あるいは同一ケーブルだと誘導を受け、誤作動あるいは破損の原因になることがあります。
・フェイルセーフ回路などの十分な安全対策として使用してください。
- その他
・原子力や、人命に関わる安全回路には使用しないでください。
・本製品を分解、修理、改造、加圧変形、焼却したりしないでください。
・廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。
・専用の照明コントローラ (形FLV-TCC4□/-TCC1□/-TCC3HB□、形FLV-ATC□1024-□) と接続してください。専用品以外を使用すると発火や破裂、誤動作や故障の原因になります。
・異臭がする、本体が非常に熱くなる、煙が出るなどの異常が起こった場合、すぐに使用を中止し、電源を切った状態で当社支店・営業所までご相談ください。
・落下や強い振動衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
・ロック機構のあるものは、必ずロックしていることを確認してからご使用ください。
・開閉時や持ち運び時など、落下などに注意してください。
- 法規と規格
本照明はEMC指令 (No.2004/108/EC) に従い、EN規格 (EN61326) に適合しています。

使用上の注意

製品が動作不能、誤動作、または性能・機器への悪影響を防ぐため、以下のことを守ってください。

- 設置場所について
次のような場所には設置しないでください。
・周囲温度が定格の範囲を超える場所
・温度変化が急激な場所 (結露する場所)
・相対湿度が35～85%RHの範囲を超える場所
・腐食性ガス、可燃性ガスがある場所
・塵埃、塩分、鉄粉がある場所
・振動や衝撃が直接加わる場所
・強い外乱光 (レーザー光、アーク溶接光、紫外光など) があたる場所
・直射日光があたる場所や暖房器具のそば
・水・油・化学薬品の飛沫やミストが周囲にある場所
・強磁界、強電界がある場所
- 保守点検について
・操作、保守の安全性の確保のため、高圧機器や動力機器から離して設置してください。
・本製品とケーブルを着脱する場合は、必ずコントローラの電源を切ってから作業をしてください。
・清掃には、シンナー、ベンゼン、アセトン、灯油類は使用しないでください。取れにくい汚れには柔らかい布にアルコールを少量含ませて、丁寧にふき取ってください。
- 電源および接続、配線について
・市販のスイッチングレギュレータをご使用の際は、フレームグラント端子を接地してください。
・電源ラインにサージがある場合、使用環境に応じてサージアブソーバを接続してご使用ください。
・配線後は電源を投入する前に、電源の正誤、負荷短絡などの誤接続の有無、負荷電流の適否について確認を行ってください。誤配線などで故障するおそれがあります。
・指定された電圧でご使用ください。定格を超える電圧や交流電圧を印加すると、回路部品が焼損・破裂するおそれがあります。
・照明と照明コントローラ間のケーブルの延長にはオプション品の延長ケーブル (形FLV-XC□/-XC□R) または分岐ケーブル (形FLV-XC□S2) を使用してください。延長ケーブルまたは分岐ケーブルの使用は1本のみとしてください。ケーブル配線時の曲げ半径は20mm以上としてください。
- ウォームアップについて
電源投入後、30分以上経過してからご使用ください。電源投入直後は回路が安定していませんので、明るさが徐々に変化することがあります。
- 照明電力について
照明コントローラには接続できる照明の電力に制限があります。本製品の銘板または、梱包箱のラベルまたは、本書に記載されている照明電力を確認の上、仕様範囲内の照明を接続してください。
- 静電気について
LEDは静電気に弱い部品です。照明部にはLEDを用いているため、交換や保守の時には、アースされたリストストラップを使用してください。

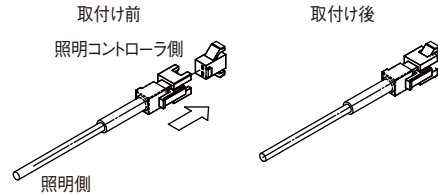
■ 定格/性能

項目	形式	形FLV-BR6022W 形FLV-BR6022R	形FLV-BR8532W 形FLV-BR8532R	形FLV-BR11222W 形FLV-BR11222R	形FLV-BR14030W 形FLV-BR14030R	形FLV-BR15020W 形FLV-BR15020R	形FLV-BR21222W 形FLV-BR21222R	形FLV-BR21230W 形FLV-BR21230R	形FLV-BR38037W 形FLV-BR38037R	形FLV-BR48031W 形FLV-BR48031R
適合コントローラ		形FLV-TCC4□/-TCC1□/-TCC3HB□、形FLV-ATC□1024-□								
照明色 (ピーク波長)		W:白、R:赤 (Typ.635nm)、B:青 (Typ.460nm)								
光源		LED								
LEDの安全性		W、B:リスクグループ2、R: リスクグループ1 (IEC62471)								
電力	白	1.4W	3.5W	4.2W	6.1W	5.5W	8.7W	8.8W	15.9W	21.9W
	赤	1.3W	3.1W	2.6W	4.8W	3.1W	5.0W	7.0W	11.3W	18.0W
	青	1.4W	3.5W	4.2W	6.1W	5.5W	8.7W	8.8W	15.9W	21.9W
絶縁抵抗		20MΩ (DC250Vメガーにて)								
周囲温度範囲		動作時: 0～+50℃、保存時: -15～+60℃ (ただし、氷結・結露しないこと)								
周囲湿度範囲		動作時/保存時: 35～85% (ただし、結露しないこと)								
保護構造		IP20 (IEC60529)								
振動 (耐久)		10～150Hz (片振幅0.35mm) 、X/Y/Z各方向 80分								
衝撃 (耐久)		150m/s ² 、6方向、各3回 (上下・左右・前後)								
材質		筐体: アルミ								
質量		約60g	約130g	約100g	約140g	約120g	約140g	約220g	約430g	約460g
付属品		取扱説明書 (本書)								

■ 照明コントローラとの接続について

● 取付け

「照明ケーブル側コネクタのツメ」と「照明コントローラ側照明接続コネクタの突起部分」の位置を合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

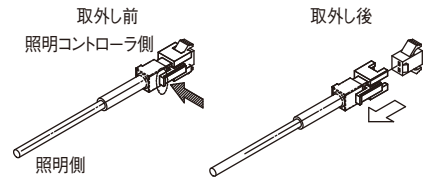


● 取外し

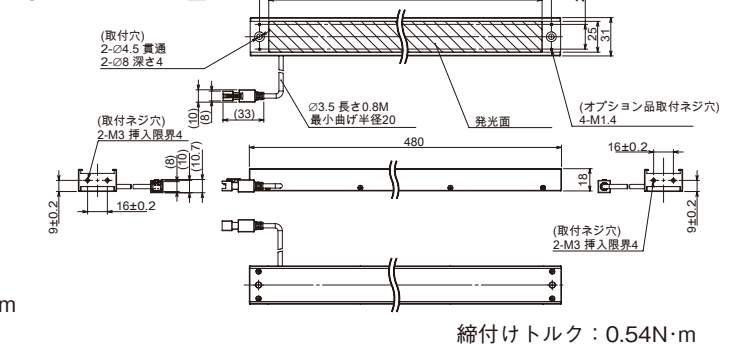
「照明ケーブル側コネクタのツメ」を矢印←の方向に押さえながらまっすぐに引っぱります。

【注意】

取外し時に、ケーブルを握って無理な力で引っぱらないでください。断線の原因になります。



●FLV-BR6022□



A(u) 2013年9月